

令和7年 恵庭市消防出初式



大正11年(1922年)に創設された恵庭市消防団の歴史
昭和45年(1970年)現在

と き 令和7年1月11日(土)

10時15分

と ころ 恵庭市民会館 中ホール

恵庭市消防本部

恵庭市消防団

恵庭消防の沿革

恵庭の開拓の始まりは、明治3年高知藩の移住により鋤が入れられたのが最初であり、本格的な開拓が始まったのは明治19年、山口県岩国・和木地方からの集団移住65戸が漁川沿いに入植した（団体移住のはじまり）
「恵庭市の概要」より

- 大正 4年 野原秀太郎氏外多数の有志により茂漁地区に私設茂漁火防組設立
北岡善作氏外多数の有志により漁地区に私設漁火防組を設立
宮田早太郎氏外多数の有志により中恵庭地区に私設恵庭火防組設立
- 大正 5年 田中善松氏外多数の有志により中島松地区に私設島松消防組設立
- 大正10年 私設茂漁、漁火防組、島松消防組が発展的に解消し、改めて公設恵庭村消防組が誕生
茂漁を第1部、漁を第2部、島松を第3部
- 大正12年 私設恵庭火防組が恵庭村消防組として公認され第4部
公認恵庭村消防組設置4部制として発足。初代組頭に大川鶴次郎氏就任
- 大正13年 加藤梁一氏外多数の有志により中央地区に中央私設消防組設立
- 昭和 9年 消防組の組織を4部制から3部制に改め、漁・茂漁地区を第1部、島松地区を第2部、
中恵庭地区を第3部
- 昭和10年 福本豊一氏外多数の有志により恵庭駅前地区に恵庭駅前私立消防組設立
- 昭和14年 消防組を改組し恵庭村警防団。初代警防団長に田中菊治氏就任
第1部を第1分団、第2部を第2分団、第3部を第3分団
- 昭和21年 橋本数馬氏外多数の有志により漁太地区に漁太私設消防団設立
- 昭和22年 警防団を消防団に改団し、恵庭村消防団。初代消防団長に嘉屋辰十郎氏就任
- 昭和24年 恵庭村消防団条例を定め、1団3分団制となり定員108名
- 昭和26年 町制施行
- 昭和34年 小玉運吉氏外多数の有志により北島地区に北島松私設消防団設立
- 昭和39年 消防本部設置。初代消防長に田中菊治氏就任（町長事務取扱）
- 昭和43年 政令指定を受け消防署を設置。初代消防署長に平本繁氏就任（本部次長兼務）
- 昭和45年 漁太、北島松両私設消防団を公設消防団に編入し、漁太地区を第4分団、北島松
地区を第5分団。1団5分団制
市制施行
- 昭和48年 消防創設50周年記念式典挙行
- 昭和55年 消防総合庁舎を有明町に移転改築
- 平成 7年 恵庭市消防団条例を改正し、団員定数を120名
消防署南出張所を和光町に新築
- 平成 9年 消防署島松出張所を南島松に移転改築
- 平成26年 消防総合庁舎を増改築
- 令和 5年 消防創設100周年記念式典挙行

式 次 第

- 1 部隊観閲（分列行進）
消防本部各隊→総指揮者（消防署長）、旗手（消防本部旗・消防団旗）、指揮隊、消防隊、
救急隊、救助隊、消防職員
消防団→団本部、第1分団、2分団、3分団、4分団、5分団、
学生消防サポーター
- 2 開会宣言 恵庭市消防団 寺下副団長
- 3 国歌斉唱
- 4 黙 禱
- 5 来賓紹介 北海道議会議員・恵庭市議会議長・恵庭市議会副議長
恵庭市議会厚生消防常任委員会委員長・同委員
千歳警察署恵庭交番所長
- 6 表 彰 表彰状伝達 北海道消防表彰・北海道消防協会表彰
表彰状授与 恵庭市長表彰
感謝状贈呈 恵庭市長表彰
- 7 市長告辞 恵庭市長 原 田 裕
- 8 祝 辞 北海道議会議員・恵庭市議会議長
- 9 祝電披露 公益財団法人 日本消防協会
- 10 答 辞 恵庭市消防団 団長 中 島 一 雄
- 11 決意表明 恵庭市消防長 海 老 康 浩
- 12 閉会宣言 恵庭市消防団 宮田副団長

住宅用火災警報器 交換のおすすめ

10年たったら、
とりかえろ。

設置されていますか？
住宅用火災警報器

古くなると火災を感知しない恐れがあります！！



●いざという時に頼れる住宅用火災警報器



こんなとき、住宅用火災警報器がすぐに火災を
警報でお知らせ！
初期消火や、素早い避難をすることができます。



●火災の発生状況

	火災件数					損害額合計 (単位 千円)
	建物	車両	林野	その他	合計	
令和4年	6件	4件	0件	6件	16件	18,137
令和5年	13件	2件	0件	8件	23件	50,798
令和6年	12件	8件	0件	7件	27件	18,499

恵庭市消防本部予防課からのお知らせ！

それ本当に救急車が必要ですか？

適正利用のご協力をお願いします！！

救急車は、多量の出血や意識がない、動けないなど、自分や家族で病院へ行くことが困難な場合に緊急に病院へ搬送するものです。しかし、軽度の風邪や発熱、切り傷、打撲、単なる体調不良など、緊急性の低い通報も少なくありません。このような通報は、命に関わる事故や病気など救急車を本当に必要としている人への対応の遅れに繋がります。

令和6年恵庭市の救急出動件数は3,140件で5年前(令和元年)より716件の増加となっています。また、軽症(入院加療を必要としないもの)は927件、不搬送(緊急性が低く自分で受診ができるなど)は702件となりました。軽症と不搬送の件数を合わせると、令和元年は全体の半数を切っていたものの令和6年は51.8%と半数以上になり増加しているのがわかります。

	平成26年 (10年前)	令和1年 (5年前)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
① 出動件数	1981	2424	2158	2511	3073	3249	3140
② 軽症件数	821 (41.4%)	870 (35.8%)	718 (33.2%)	859 (34.2%)	1038 (33.7%)	1094 (33.6%)	927 (29.5%)
③ 不搬送 件数	253 (12.7%)	336 (13.8%)	326 (15.1%)	419 (16.6%)	645 (20.9%)	692 (21.2%)	702 (22.3%)
②+③	1074 (54.2%)	1,206 (49.7%)	1,044 (48.3%)	1,278 (50.8%)	1,683 (54.7%)	1,786 (54.9%)	1629 (51.8%)

こんな時は迷わず 119 番！

多量の出血、意識がない、突然の激しい頭痛、胸の痛み、急な息切れ、呼吸が苦しいなどのいつもと様子が違う症状が出た場合は迷わず 119 番通報をしましょう。救急車の要請に迷ったら、全国版救急受診アプリ「Q助」というサービスがあり、当てはまる症状を選択していくと緊急度の目安を4段階で判定してくれます。その症状について受診できる病院や移動手段などの情報を検索することも可能です。子どもの急病の場合は#8000(小児救急電話相談)を使いましょう。こちらは#8000にダイヤルすることで小児科医・看護師に電話相談できるものとなっています。また、恵庭市では独自の取り組みとして市公式アプリ「えにわか」で前述のQ助へのリンクや恵庭市の夜間・休日の内科・外科系の当番病院がわかるショートカットもありますのでこちらもご利用ください。



Q助アプリアイコンとQRコード

えにわかアプリアイコン

AppStore

GooglePlay

恵庭市消防署救急課



開式前



分列行進（総指揮者）



分列行進（本部旗手・団旗旗手）



開式宣言（寺下裕己消防副団長）



分列行進（指揮隊）



分列行進（消防隊）



分列行進（救急隊）



分列行進（救助隊）



分列行進（団本部）



分列行進（1分団）



分列行進（2分団）



分列行進（3分団）



分列行進（4分団）



分列行進（5分団）



分列行進（学生消防サポーター）



田中芳憲北海道議会議員 祝辞



早坂貴敏北海道議会議員 祝辞



長谷文子恵庭市議会議長 祝辞



中島一雄消防団長 答辞



海老康浩消防長決意表明



閉式宣言 (宮田寛消防副団長)